

神杉の力を集結して

第18回神杉大田植

神杉自治連だより

神杉地区の三大行事のひとつ、第18回神杉大田植が、6月11日(日)、地区内外から大勢のお客様にお越しただいて賑やかに開催されました。

心配していた天気は、会場の皆さんの気持ちしが天に通じたのか、まずまずの田植え日和となり、今年も美土里町の杉原牧場様の花牛3頭の代掻きから始まりました。

開会式には早乙女姿の来賓の方お二人が参列され、華を添えていただき、来賓紹介でお二人の名前が呼ばれると、「頑張ります。」と力強く宣言されていました。



♪ やろし早て女さんよ
並び立ってや唄出す
ソウジャイソウジャイ
♪ やろし早て女さんよ
今日一日は頼むよ
ヤハハハイ
よがろつて今日一日は



サゲ衆の田植唄に合せて少し緊張気味の早乙女が一行に圃場に入り、いよいよ再現神杉大田植がスタートしました。テンポよく植えながら進み、途中腰を伸ばす時には、ちよっぴり余裕の笑顔に変わっていました。

今年のサゲ衆の中には、小学校六年生の児童が立候補して太鼓を叩いてくれ、次世代へ繋がっているうれしさと頼もしさを感じました。また、早乙女の中には、中学生の姿もあり、子もたちがどんどん若い力を発揮して、もっともつと神杉を盛り上げてくれることを願っています。



第一部が終了すると次々に圃場から上がって休憩ですが、ホッとした表情がまたたきまらなくいいと



神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2023/7/11 発行
6月末(前月比)
人口 1,472(+3)
世帯 604(+1)
ホームページ
kamisugi@m-city.jp



カメラマンはシャッターチャンスを狙っていました。

第二部は、小学校5年生の体験田植えと一般参加者との交流田植えです。

早乙女の中には5年生児童の保護者もおられ、早乙女衣装のお母さんとなりどおしで仲良く田植えを体験し良い思い出になったのではないのでしょうか。



6年生のお兄さんお姉さんの叩く太鼓に合わせて5年生が苗を植える様子は、未来の神杉を創造させるような微笑ましい光景でした。

第3部は、体育館へ移動して代みて(慰労会)です。今年はコロナ前と同じように、JAひろしま三次東支店から提供していただいたお米を女性部さんがおむすびにして配っていただき、ゆっくり食べながらステージ発表を見ることができました。

三味線グループさんの民謡と演奏。4年生の銭太鼓発表。華麗なブレイクダンスに、どこかカワイイ腹踊り。どれも拍手喝采でした。最後は神杉の特産品が当たるお楽しみ抽選会です。





蜂蜜、ドイツパン、アスパラガス、牛肉。
神杉にはおいしいものがいっぱいです。
ステージの上から当たりくじの番号が読み上げられると、元氣よく手を挙げる人、近い数字に残念がる人と一喜一憂。会場の体育館は最後まで盛り上がっていました。



6月29日（木）には反省会を開き、課題や次へつなげる意見交換をしました。毎年の課題は、早乙女さんの確保ですが、今年は来賓の方が挑戦してくださったことや自主的に若い人の参加があったことが良かった。
若い人たちに、大田植を通して

稲作文化が継承されてきていることを実感できた。など、明るい話題がありました。飲食が可能となったことにより、分別できていないゴミが多くあったこと。駐車場の確保やタイムキーパーを置くなどの課題も出ました。



次の開催に向けて、課題は解決できるよう考え、良かった面は続けていけるよう最大限努力していきます。
今年2月に実行委員会を立ち上げ、大田植の成功に向けて何回も部会を開催し協議を重ね、ご尽力いただきました実行委員の皆さん。圃場に入って頑張っていたいただいた早乙女さんと圃場出場者の皆さん。
「ご来場くださるお客様を神杉の特産品でもてなししていただいた地域の皆さん。人前には立たず陰で協力してくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。」
神杉大田植は、地域の力を集結せずには成功できない大きな行事です。今年も神杉の底力を発揮できたことに大きな喜びを感じています。
今は、皆で力を合わせて植えた苗がそよ風にたなびき、秋の収穫の日まで元気で実ってくれることを願っています。
※もち米の予約も受け付けています。
(神杉自治会館 66-1323)

神杉わくわく講座

6月19日（月）、令和5年度神杉わくわく講座が開講しました。

5・6年生の鼓笛隊演奏と4月に赴任してこられた高淵教頭先生のお話。



現在神杉小学校で子どもたちと一緒に生活しているロボットのパッパー君とクイズで交流。

また、山下栄子さんの伴奏で健康になるために、久々に大きな声で歌いました。最初はなかなか声が出ませんでした。少しずつ出るようになっていきました。

神杉わくわく講座は、ゆっくり楽しく学びながら、生きがいつくりや健康増進の場となるよう目指しています。

東部地区てくてくウォーク

6月23日（金）、東部地区てくてくウォークが開催されました。

今回のコースは田幸地区、約5.8キロ。

所要時間は1時間45分でした。

神杉からは5人（総勢23名）で、ちょっぴりさみしかったのですが、普段は歩かない、知らないところを歩くのは、わくわくして楽しかったです。

途中、案内役の田幸コミュニティの方のお話もあり、木陰からはかわいい鹿たちがお目目まん丸の顔をのぞかせていたり、充実したウォーキングでした。

次回は10月に川西地区を歩きます。



長靴をはいたネコと9つの命



毎年恒例のナイトシアターを開催します。
今年の作品は、

「長靴をはいたネコと9つの命」です。

長靴をはいたネコプスは、数々の冒険も恋もしてきましたが、気づいたら9つあった命は、ラスト1つになっていました。そんな時、どんな願い事も叶う「願い星」の存在を聞き、命の数を取り戻す旅に出るのですが前途多難な予感。

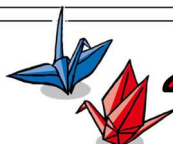
すっかり死ねない過去最大の大冒険が始まりました。
(上映時間104分)

夕涼みを兼ねて、ご家族お揃いで鑑賞ください。

戦争犠牲者慰霊のつどい&平和学習会 令和5年8月6日(日)

9時～ 平和学習(自治会館内)
10時～ 慰霊のつどい(慰霊碑前)

テーマ
原爆の恐ろしさから
平和文化へ



千羽鶴のご協力をお願い

戦争犠牲者慰霊のつどいで慰霊碑に奉献する折り鶴を募集しています。

平和への願いを折り鶴に込めて1羽でもかまいません。

ご協力をお願いします。

集まった折り鶴は、糸を通して千羽鶴に仕上げ、8月6日に慰霊碑へ奉献し、その後三次市から広島市平和公園へ送られます。

折り紙は神杉自治会館へあります。

今年も広島・長崎に原爆が投下された暑い夏がやってきます。
神杉地区自治会連合会は、世界の恒久平和を願って

「神杉地区戦争犠牲者慰霊のつどい」を開催します。

併せて、講師に元広島平和文化センター理事長のステイブン・リーパーさんを迎えて、平和学習会も開催します。

今年5月には、G7 広島サミットが開催され、世界平和の願いを広島から発信されました。私たちは地域での地道な取り組みを大切にし、未来へつないでいきましょう。

ご自由にご参加ください。お問い合わせ：神杉自治会館 66-1323

今年の夏休みもキッズチャレンジ



今年の夏休みもキッズチャレンジを開催します。

毎年老人クラブの方や、JA 女性部さん、地域の皆さんが、「異世代・異年齢の人とふれあう場」「感動する体験をする場」「学んでみたい・チャレンジしてみたいと思う場」を考えてくださり、参加した子どもたちの顔は笑顔があふれています。

夏休みは暑いけどダラダラと過ごしてはもったいない！みんなといっしょに楽しんで学びましょう。

詳しいことは、小学校から持ち帰るチラシをご覧ください、申し込みをしてください。

保護者の方で、子どもと一緒に参加してみようと思われる内容のものがあれば遠慮なくお申込みください。

今年の内容はこちら

7/31(月)

憩いの森へレッツゴー！

・巻き巻きパンを作って食べよう

8/3(木) (JA 女性部さんと)

目指せ自給自足

・紙コップで野菜を育ててみよう

8/10(木) (老人クラブさんと)

ギネス世界一

・よく飛ば紙ヒコーキを作って飛ばそう

8/24(木)

大学探検隊

・県立広島大学庄原キャンパスへ行ってみよう



7月 講座・行事・会議予定



- 11日(火) 舞踊 三味線 広報紙配布
三次市住民自治組織定例会
- 12日(水) パン教室
- 13日(木) 大正琴
- 14日(金) JA女性部料理講習会
パソコン カラオケ
- 16日(日) グラウンドゴルフ月例会
- 18日(火) 舞踊 三味線
- 19日(水) 書道
- 20日(木) 俳句
- 21日(金) パッチワーク ナイトシアター
- 24日(月) 社交ダンス
- 25日(火) 舞踊 三味線
- 27日(木) 絵手紙 三役会議
- 28日(金) 生花 パソコン
- 31日(月) キッズチャレンジ (憩いの森)
折り鶴糸つなぎ

8月 講座・行事・会議予定



- 1日(火) 舞踊 三味線
- 3日(木) キッズチャレンジ (JA女性部)
- 4日(金) パッチワーク
- 6日(日) 神杉地区戦争犠牲者慰霊のつどい
平和学習
- 8日(火) 舞踊 三味線
- 9日(水) パン教室 書道
- 10日(木) キッズチャレンジ (老人クラブ)
大正琴 広報紙配布作業

8月からヨガ教室開催予定!! 生徒募集します

愛の灯

令和五年六月一日から同月末日までに
次の方からご寄付が寄せられました

神杉地区社会福祉協議会へ

《香典返し》

十九区上 中藤 博文 様

(亡父 中藤 宗夫 様)

紙面をおかりしまして、
衷心より厚くお礼申し上げます



山脈句会(六月)

被爆者の声も世界へGセブン

つばくろや今年も軒に帰りけり

温度差に振りまわされて春迎え

田植済み次に目が行く稗ゆひえがら

灯火あかりびに吸ひ寄せられる火取虫かとりむし

大田植千個のむすび振る舞いて

広川テル子

中藤 博文

高松 英子

住田東洋男

中本 好美

田原 洋子



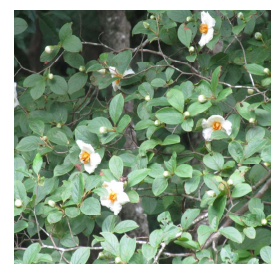
地域の自然に目を向けて

ある日、地域の方からお電話で、「今、魚切の夏椿(シャラ)の花が満開じゃけえ、行ってみんなさい。」と、情報提供をくださいました。

カメラ片手に行ってみると、普段はす〜っと通り過ぎるこの場所ですが、その花を目当てに行くと、なんで今まで知らなかったんじゃろう。ボーっと生きてんじゃねーよ!って

誰かに叱られた感じがしました。自生の夏椿が群生している所は神杉と青河にしかないとのこと。

もっと地域の自然に目を向けないといけませんね。



編集後記

暑い夏がやってきました。

「百聞は一見にしかず」なじみ深いことわざです。「人から話を聞いてわかった気になるのではなく、何事も自分で体験してみることが大事だ」という説です。関連することばとして、「論より証拠」、「千文一見にしかず」などがあります。この教えを活かす方法としては、「体験する機会を増やす」、「写真や図でイメージを増やす」、「図やイラストを描いて整理する」、「動画を見て整理する」など、自分で体験、実践してみることで、みなさんも、夏を元気で乗り切るための体験・実践をしてみたいかがでしうか。

幹

